

家庭 小学校第5学年 ひと針に心をこめて

縫い方を確認する場面での活用

動画再生

5年生になって初めて取り組む家庭科、中でも針と糸を使って手縫いをする経験は、ほとんどの児童にとっては初めての経験である。

また、各家庭においても針と糸を使って布を縫う光景を目にする機会は限られている。

手縫いをする際の、針の動きや布を持つ手の一連の動きを、手順を追って確かめるためには、手縫いの動画を利用し、具体的に動きをイメージさせることが効果的である。

さらに音声による解説により、重ねて正しい作業工程を確認することができた。また、苦手な縫い方の場合は、動画を繰り返し再生することや、一時停止して拡大表示することができるため、児童一人ひとりの課題や必要度に合わせた視聴が可能であり、安全かつ効率よく作業を進めることができる。



繰り返し再生で手縫いの基礎を学習する児童

家庭 小学校第5学年 ソーイングはじめの一步

縫い方を確認する場面での活用

拡大縮小

動画再生

5年生の児童にとって初めて学ぶ家庭科は、興味をもって意欲的に取り組む姿が見られる。

しかし、様々な用具の扱い方、縫い方などを身につけるなど、習得することも多い。

そこで、デジタル教科書を活用すると、手軽に紙面を拡大することで児童に分かりやすく提示でき、大変効果的である。

教師と児童が同じ紙面を見ているため、児童の手元にある教科書でもすぐに振り返りができる。

また、二次元コードを使って動画を見ることで、どのように手先を動かすとよいのかが一目で分かる。さらに、児童自身が操作することにより、一度動画を止めて確認したり、繰り返し見たりし、自分のペースで作業を進めるのに適している。いつでも振り返りができるという点で児童が安心して作品づくりに取り組むことができる。



動画で縫い方を確かめながらの小物づくり

## 家庭 小学校第5学年 ソーイングはじめの一歩

## 縫い方を確認する場面での活用

動画再生

布をぬう際に、縫い始めに「玉結び」、縫い終わりに「玉止め」を行うが、手順や指の動かし方が複雑で、子どもたちがつまずきやすい工程である。このつまずきに対応するために、学習者用デジタル教科書を2段階で使用した。

はじめに、拡大テレビで動画を確認しながら、全体指導を行った。特に気をつけさせたい点については、動画を止めたり、繰り返したりして丁寧に説明した。

次に、児童が自分のタブレットで動画を確認しながら、縫う作業を行った。作業がうまくいかない時に、子どもたちが自分のタイミングで、何度も確認することができるため、作業ペースやつまずきの個人差に対応することができる。細かい動きを確認するには、写真よりも動画の方が効果的である。



動画を見ながら縫う児童

## 家庭 小学校第5学年 ソーイングはじめの一歩

## 縫い方を確認する場面での活用

動画再生

児童にとって初めてのソーイングの学習である。

玉結び・玉止めのやり方やいろいろな縫い方を手元で見せたり、写真や文字で掲示をしたりするだけでなく、教科書の二次元コンテンツ教材の動画を活用して、指の動きやポイントを何度もおさえながら活動をした。

単元の最後には、できるようになった縫い方を使って小物を製作した。

児童によってデザインは様々で、なみ縫い・返し縫い・半返し縫い・かがり縫いの中から縫い方を選んだり、ボタンを付ける付けないも自分で考えたりして製作した。

製作中に困ったことや分からないことがあると、個人のタブレットで動画を確認しながら、自分のペースで作業を進めることができ、効果的であった。



QRコンテンツ教材で縫い方を確認する児童

## 家庭 小学校第5学年 生活を豊かにソーイング

## 縫い方を確認する場面での活用

動画再生

手縫いによる縫い方を指導する際に、該当する縫い方の動画を見せながら指導を行った。

その後、児童が自分で見たい部分を繰り返し見ることができ、縫い方の定着に有効だった。

家庭でも閲覧できるため、作業の復習に使用することができた。

ただ、同じ角度からの映像であるため、動画だけでは分からない部分は実物投影機や近くで実演するといった支援も必要だった。



手縫いによる縫い方の動画の様子

## 家庭 中学校第1学年 衣服の補修と手入れ

## 縫い方を確認する場面での活用

動画再生

デジタル教科書で動画を見ながら、「まつり縫い」の練習に取り組んだ。

「まつり縫い」は中学校で初めて学習する縫い方である。針と糸の扱いに慣れていない生徒も多く、縫い方を分かりやすく説明する必要があった。教室前のスクリーンでも写真や動画を使って詳しく説明したが、一人ひとりのペースに合わせて説明することは難しいと以前から感じていた。

そこで、デジタル教科書を使用すると、生徒は自分の手元でじっくりと縫い方を確認したり、自分のペースで動画を再生・停止させながら練習したりするなど、熱心に作業に取り組むことができていた。教師は特に作業が難しそうな生徒に個別にかかわり、時間をかけて丁寧に説明することができ、全体として効率よく授業を進めることができた。



動画で縫い方を確認している様子

## 技術 中学校第1学年 材料と加工の技術

## 道具の使い方確認する場面での活用

動画再生

1年生の技術では、「材料と加工の技術」の作品づくりで木材を使用する。

工具を使った作業は、言葉では理解が難しい部分もあるため、動画や写真を見せ説明する。

今回の作業は「さしがねを使った木材へのけがき作業」であり、先に動画を見ながら自分の材料にけがきをさせることで、生徒に分かりやすく使い方を習得させることができる。

次の内容でのデジタル教科書の使い方として、

「のこぎり引きの様子」の動画や、木工室用の椅子を用いた切断のしかたなどの見本を見せ、効果的に生徒がのこぎり引きのしかたを理解させる。また、動画内の「上手に切断している音」を聞き、自分が切断するときの音と聞き比べることにより、「上手に切断したときの感覚」をつかませることができる。



手本動画を見ながら、けがき作業を行う生徒